

令和8年第1回木津川市議会定例会  
代表質問通告書（3月2日）

1 市民フォーラム 玉川 実二

質問事項： 令和8年度施政方針と主要事業を問う

質  
問  
要  
旨

令和8年度予算案は、任期4年間の総仕上げとして、所信表明で示された2つのビジョン「子どもや若者が将来に向けて希望を持てるまちづくり」、「すべての方が住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」を実現するとされています。

また、『第2次木津川市総合計画後期基本計画』に掲げる7つの基本方針に基づく重点施策を推進し、“市民目線”に立ち、“柔軟かつ的確”に、“スピード感”をもって、まちづくりを力強く進める予算として編成するとあります。

1 そこで、令和8年度の施政方針について、お伺いいたします。

- (1) 所信表明で示された2つのビジョンの進捗状況と令和7年度までの評価についてお伺いいたします。
- (2) 『第2次木津川市総合計画後期基本計画』の基本方針に“市民目線”に立ちとあるが、具体的な要望に対する主要施策は。
- (3) 歳出改革についてお伺いいたします。財政の健全化のためには、既存事業の不断の見直しが重要です。既存事業の効果検証をどのように行い廃止・縮小・改善につなげているのか。また、民間活力の活用やデジタル化による歳出削減を、より戦略的に進める考えはあるのか、お考えを伺います。
- (4) 市民への説明責任と財政情報等の「見える化」についてお伺いいたします。財政運営への市民理解と信頼を高めるためには、分かりやすい情報発信が重要です。また、市民参加型の市政運営（特に対話の場の充実）を取り入れる考えについて、見解を伺います。
- (5) 水道事業についてお尋ねします。人工衛星を活用した漏水調査を広域で進めると言及されています。人工衛星による漏水調査について、先進事例での的中率や費用対効果をどのように評価されているのか。また広域連携は、具体的にいくつかの自治体による連携を想定されているのかお伺いします。

2 次に、本市のDXプロジェクトについてお伺いいたします。

- (1) デジタル技術や民間活力による業務の効率化・省力化に資する取組みについても、積極的に検討を進めることとされていますが、どのようなプロジェクトを推進されるのか、その概要と期待する効果についてお伺いいたします。
- (2) 本市のAI事業推進に際し、対象となる領域・分野と導入目的についてのお考えをお伺いいたします。
- (3) 本市のDXプロジェクト推進に際して、横断的な組織の必要性についてのお考えをお伺いいたします。

3 最後に、本市の財政改善について、お伺いいたします。

- (1) 市の財政が大変厳しい状況ですが、財政改善のために、どのような解決策を講じるのか基本的な考えをお伺いいたします。
- (2) 経常収支比率についてお伺いします。令和6年度決算では、同比率が97.3%となり、令和7年度は100%に到達すると見込まれるとのことですが、どのように改善を図るのかお伺いいたします。
- (3) 同規模の近隣市町とのベンチマーク（経営指標等の比較）などによる現状分析と課題抽出などは実施されましたか。

分析結果はいかがでしたか。お伺いいたします。

2 日本共産党木津川市議員団 西山 幸千子	
質問事項： 子育て支援・教育環境の充実を	
質問 要 旨	<p>施政方針を問い、みんなが安心して暮らせる木津川市を求めます。 誰一人取り残されることなく、心豊かで幸せな生活を送ることは、子どもたちだけでなく全ての世代に共通する願いです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 木津川市でも日本全体でも少子化が進んでいる中で、木津川市も小中一貫教育が検討されています。「集団の中で切磋琢磨」する教育環境が子どもたちのためになると考えているのですか。テストの点数だけで評価される、評価にさらされることが子どもたちに生きづらさを感じさせていませんか。</li> <li>2 中学校体育館へのエアコン設置が終わり、小学校の体育館・講堂への設置事業もあと3年間で終了します。この時に、普段の授業で使用する特別教室へのエアコン設置をただちに具体化すべきではないですか。</li> <li>3 公立放課後児童クラブの指定管理者制度の導入方針が突如提案され、1月に会計年度任用職員向けの説明が行われたと聞きました。放課後児童クラブはコロナの時期に学校側とのより密な情報共有が進み、子どもたちの様子をより掴んで対応ができるようになったことでそれぞれの良い面が発揮できていると考えます。費用面などによる安易な民間委託を進めるべきではないのではないですか。</li> <li>4 学校給食費の負担は子どもが増えれば金銭的負担が増すこととなり、「隠れた貧困家庭」とっては大変です。「保護者負担を軽減する」とありますが、安心できる具体策はどのようなものですか。国の動向を待つだけでなく、中学生の給食も無償にすべきではないですか。</li> </ol>
質問事項： すべての世代が安心して健やかに暮らせるまちづくり	
質問 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢化が進み、市民の移動手段の確保は必須です。地域公共交通の役割を認識し、奈良交通路線バスの存続と市コミュニティバスの充実を図るべきではないですか。その上で、高齢者や学生も利用しやすい運賃を設定すべきではないですか。</li> <li>2 北陸新幹線の延伸よりもJR奈良線の木津駅までの早期の複線化が必要ではないですか。また、大和路線の利便性向上と駅員配置の充実が必要ではないですか。</li> <li>3 福祉施策として、高齢者の外出機会を増やす施策を行うべきではないですか。試験的に行なっている「ちょこっとながも」の事業を定着させ、他地域へも拡げてください。高齢者の健康を保ち、生きがいを感じるような毎日を過ごすことで、医療費や介護費用の軽減を目指してください。</li> <li>4 物価高が続いています。5月からの水道料金の値上げに関して、多くの市民から「なぜ今なの？」との声が届けられています。他自治体でも水道基本料金の減免などが行われています。国の交付金事業だけでなく、市独自の物価高対策が必要ではないですか。</li> </ol>
質問事項： 災害に強いまちづくり	
質問 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 昨年は青森県東方沖地震に大変驚かされましたが、震度1以上の地震発生数が2024年度比で118%（2025年12月まで）だったそうです。災害時の対応について、規模が大きくなればなるほど個人の努力だけでは難しいと考えられます。たえず、防災計画の見直しを進め、万全の対策を図るべきではないですか。</li> <li>2 福井県の前発に何かあれば、複合災害につながります。避難者の受け入れなど原子力災害への対応もしっかりと想定し、資機材の充実を図るべきではないですか。</li> </ol>

3 公明党 大角 久典

質問事項： 施政方針について問う

質  
問  
要  
旨

令和8年度は、本市が第2次総合計画の総仕上げに向かう重要な年であります。予算案は過去最大であった令和7年度を11億2,200万円、3.1%上回る376億6,500万円となっています。城山台地域など若い世代の多いまちと人口減少が見られる山城町・加茂町の活性化にどう取り組み、全世代が「住んでよかった」と実感できるまちにするのか。市長の覚悟を問うて参ります。

- 1 主要施策より、物価高騰対応重点支援地方創生交付金の活用について残金が約3億円ほどあるかと想定しますが、活用方法をお聞かせください。
- 2 JR木津駅東地区事業化について、駅東道路整備事業を含めてお示しください。
- 3 こどもあそび場について、城山台公園に新たな遊具を整備されるとあるが、以前からある要望に叶ったものか。
- 4 学校給食費について、本年4月より、食材費高騰に伴い給食費の改定が行われると考えます。国と府による小学校給食費への支援制度が開始され、本市においても、小学校ではかなりの負担軽減が実現できると考えますが、負担が増大する「中学校給食」への市独自の軽減策についてお聞かせください。また、単にコストを補うだけでなく木津川市産の農産物を活用した「地産地消」をさらに進め、給食の質の向上を図るべきと考えますが、具体的な取り組みを伺います。
- 5 重層的支援体制整備事業について具体的に支援につながりにくい方にアウトリーチ型支援事業を展開し、孤立の防止や生活再建への伴奏支援を進めるとあるが令和3年度から取り組まれた中で拡充するところは。
- 6 学校運営協議会（コミュニティスクール）について、令和6年度から8年度で順次設置を進めるとあり、現在3つの小学校で進んでいて令和8年度で残りの全ての小中学校に設置をとあるが、取り組みを広めることの重要性をお聞かせください。
- 7 防災士の養成について、地域の防災力を高めることを目的として進めた7年計画が最終年度を迎える中で、約350名の防災士が基本的な知識や技術を習得して地域で活躍する土台ができた。今後の展開をお示しください。

令和8年第1回木津川市議会定例会

代表質問通告書（3月3日）

1 新風コスモスの会 森本 隆	
質問事項： 教育環境ナンバーワンを目指せ	
質問要旨	<p>市長の施政方針にて、市政運営の基本的な考え方の5つのアクションプランが示されました。その中で、トップに記載されている「子育て支援・教育環境の充実」について、下記内容を問います。</p> <p>(1) 少子化の進行により児童数が減少している。令和5年2月に発表された「木津川市立小・中学校の在り方に関する基本計画」において、2020年9月末の住民基本台帳に基づいて、市立小学校の児童数を推計しているが、2030年の児童数は、推計では4,211人であった。2025年12月末現在の人口ベースにした独自推計では、2032年の児童数推計は、3,274人と大幅に減少している。2032年、6年先の児童数をどう認識しているのか。</p> <p>(2) 「木津川市立小・中学校の在り方に関する基本計画」の小学校児童数の推計では、2035年3,724人、2040年3,698人となっている。実際の児童数の減少は、当初推計より10年以上前倒しとなっている。教育委員会として、児童数の減少の事実を認識して、今後の対応を早急に計画し、実施する必要があると思うが、どう考えているのか。</p> <p>(3) 市全体の公共施設の約63%は、小中学校の施設となっている。児童生徒数減少により、地域によっては、空き教室が多数でてくる。空き教室の見込み数と空き教室の活用についてどう考えているのか。最適な教育環境を維持するためには、小中学校の小中一貫校、義務教育学校の設置、統廃合が必要だと思うが、どのように進めていくのか。</p> <p>また、空き教室の活用という観点で、教育施設の複合化による活用（子育て施設、介護施設、地域の集会所等）を進めるべきだと思うが、どのように考えているのか。</p>
質問事項： 恭仁宮跡特別史跡指定を契機に観光産業を育成せよ	
質問要旨	<p>市長の施政方針の主要施策に、史跡恭仁宮跡が特別史跡に指定されたことを契機に、その価値を広く発信し、恭仁宮跡の知名度向上と事業のレガシー化を進め、本市の魅力発信と観光振興を一層推進し、地域のにぎわい創出と持続的な発展につなげていきたいと示されている。市の観光の状況認識と今後の方策について、下記内容を問います。</p> <p>(1) 市の観光客数と観光消費額の実態は。 観光産業の雇用者数の実態は。それを踏まえた主な取り組みと今後の取り組み方針について。</p> <p>(2) 恭仁宮跡の観光客が少ない現状を踏まえると、加茂地域の浄瑠璃寺、岩船寺、海住山寺等をグルーピングして、車で観光できるルート設定と環境整備が必要だと思うが、どのように取り組むのか。</p> <p>(3) 恭仁宮跡のガイドンス施設、体験型コンテンツをどう構築していくのか。</p>
質問事項： 将来にわたって安心・安全に暮らせるまちづくりを	
質問要旨	<p>将来を見据えた市民の安心・安全に暮らせるまちづくりには、大規模災害に対する備えと、上下水道をはじめとする生活インフラの計画的な点検とメンテナンスが必須である。本年3月15日に、相楽中部消防組合の新庁舎が竣工し、新たなステージがスタートする。</p> <p>このような背景のもと、下記内容を問います。</p> <p>(1) 本年度末から消防組合新庁舎が稼働する。地域の防災力強化と大規模災害への対応の改善点と、具体的な取り組みは。また、社会福祉協議会と進める災害ボランティアセンターの仕組みの構築とは。</p> <p>(2) 上下水道インフラの地震対策と定期的な点検は市民の安心・安全に重要な取り組みである。今後の取り組みは。</p> <p>(3) 本年度、市内で多くの熊目撃情報があり、市民の安全確保を最優先に、必要に応じて緊急銃猟を可能にする必要があると思うが、どのように対策を強化するのか。</p>

2 自民党木津川 長岡 一夫	
質問事項： 公共施設包括管理業務の委託と概要	
質問 要 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業の実施までの経過と対象施設と対象業務は。抽出した公共施設99施設までの経過は。</li> <li>(2) 対象施設を抽出するにあたり、組織内での調整はどのようにしたのか。</li> <li>(3) 契約締結後における市民周知は。</li> <li>(4) 委託業者と包括担当課との連絡調整は。</li> <li>(5) 業務導入により、施設所管課職員の業務軽減につながるのか。</li> <li>(6) 今後の公共施設マネジメントへの方向性は。</li> <li>(7) 導入効果の測定方法は。</li> <li>(8) 地元事業者の活用方法は。また、地元事業者の発注金額の推移は。</li> <li>(9) 導入課題として職員意識の希薄化が挙げられるが、対策を行っているのか。</li> </ul>
質問事項： 誰もが生き生きと生涯元気で暮らせるまちづくりを問う	
質問 要 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和8年度の市長の施政方針で述べられていた「木津川市言語としての手話の普及及び障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」について今定例会に提出されたが、条例案が提出されるまでの経過は。</li> <li>(2) 条例制定にあたり、苦勞した点や木津川市の特色などあるのか。</li> <li>(3) 市内の聴覚障がい者は何人か。また団体はいくつあるのか。</li> <li>(4) 当事者や支援者団体の主な意見はどのようなものか。</li> <li>(5) 当事者や支援者で手話を使える人の割合は。</li> <li>(6) 市職員や市民の中で手話を使える人の割合は。</li> <li>(7) 手話を使える人を増やす取り組みが重要だと思うが、考えは。</li> <li>(8) 市職員への手話研修の考えは。</li> <li>(9) 条例の市民への周知の取り組みは。</li> </ul>
質問事項： 災害に強い安全なまちづくりを問う	
質問 要 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 今年6月より変更が予定されている防災気象情報の変更内容は。</li> <li>(2) 変更内容の市民への周知方法は。</li> <li>(3) 警報発令から避難所開設までの変更点等はあるのか。</li> <li>(4) 河川氾濫警報の対象は。</li> <li>(5) 警報発令時における防災行政無線での周知に不具合はないのか。</li> <li>(6) 消防団、自主防災組織、防火リーダーへの説明会の実施予定は。</li> <li>(7) 地域防災計画の変更と関係機関との連携は。</li> <li>(8) 職員への説明会や周知は。動員マニュアル等の変更はあるのか。</li> </ul>
質問事項： 住みよい生活環境と自然に恵まれたまちづくりを問う	
質問 要 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地球温暖化防止対策の取り組み状況は。市民や事業者、市役所のそれぞれの取り組み内容と成果は。</li> <li>(2) 公共施設における照明のLED化の進捗状況は。LED化による電気代等の成果の見込みは。</li> <li>(3) 地球温暖化による夏場の暑さは異常な状況である。クーリングシュルターの運用実績はなかったと聞くが、周知方法は。また、公共施設や大型店舗の追加指定をするなど拡大する考えは。</li> <li>(4) 小中学校への太陽光発電の設置など温室効果ガス削減の取り組みはあるのか。</li> <li>(5) ごみ減量と再資源化での廃棄物減量等推進審議会での協議状況は。</li> <li>(6) 以上の状況を踏まえて地球温暖化防止計画の推進に循環型社会推進基金を活用する考えは。</li> </ul>

質問事項： 施政方針について

質  
問  
要  
旨

- 1 まずは、アクションプランについてお尋ねします。
  - (1) 「子育て支援・教育環境の充実」について
    - ① 遊び場の確保・充実について今後の計画は。
    - ② 「子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ合い、切磋琢磨できるより良い教育環境を維持するため、小中一貫教育の導入など新たな学びの形も視野に入れつつ、今後の学校の在り方についても検討」との記載があるが、集団の中で多様な考えに触れ合うという部分に着目すると、学校の生徒数の規模を維持することを目指す趣旨と理解できる。学校統廃合に向けての検討を含むのか。
  - (2) 「すべての世代が安心して健やかに暮らせるまちづくり」について
    - ① 高齢者の社会参加の促進策の具体案は。
    - ② ボランティアの育成の具体案は。
    - ③ 地域での支え合い・見守り体制の充実のための方策は。
    - ④ 地域包括ケアシステムを深化させていく上での課題と対策は。
  - (3) 「災害に強い安全なまちづくり」について
    - ① 自主防災組織の活動支援の具体策は。
    - ② 災害時のボランティアセンターは社会福祉協議会が設置するが、スムーズな設置運営のための支援は十分か。
  - (4) 「持続可能な財政基盤の確保」について
    - ① 「デジタルを活用し、行政サービスの充実と業務の合理化を図る」ことは、将来的な人員削減を目指したものか。
    - ② 「企業誘致を継続的に推進」とあるが、どのような企業の誘致を目指しているのか。
    - ③ 進出する企業にどのようなメリットを提示できるか。
  - (5) 「住み続けたいと思える活力あるまちづくり」について
    - ① 「若者会議」の取り組みを通じて実現した政策は。
    - ② 地域おこし協力隊は今後も継続予定か。今後の配置計画は。
    - ③ 恭仁宮跡を市の魅力発信・観光振興・にぎわい創出の拠点としようとの意思を理解した。
      - ア (ア) 上狛でにぎわい拠点の基本構想があるが、恭仁宮跡をにぎわい創出の拠点とすることとの両立ができるのか。
      - (イ) 以前、基本構想のみで具体的に決まったことは無いとの説明を受けたが、にぎわい拠点をどこに作るかという大枠の決定は急ぐべきでは。
      - イ 府は恭仁宮跡を地域振興の核となる可能性があるものと認識しているようである。積極的に府との協力を進めるべきでは。
- 2 次に、主要施策について質問します。
  - (1) 「ともに『学び』『喜び』『成長し』未来を生きる子どもを育むまちづくり」について
    - ① あそび場の充実について、城山台公園の次の整備計画は。
    - ② 小中学校の特別教室の空調整備の予定は。
  - (2) 「誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり」について
    - ① 「地域住民や関係団体と連携して、見守り活動や相談体制の強化、地域交流の場づくりなどを進めることで、地域住民の複雑化、多様化した支援ニーズに対応する仕組みを整えます。」とのことだが、地域の仕組みは今ままで良いのか。
    - ② 地域福祉基金の運用益はどれくらいの額か。
  - (3) 「一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり」について  
学校運営協議会設置の前後で、どのような変化があったのか。

質問 要 旨	<p>(4) 「人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり」について</p> <p>①</p> <p>ア 恭仁宮跡は聖武天皇ゆかりの遺跡であることから、特別史跡昇格の記念行事に皇族の出席を要望することはできないか。</p> <p>イ</p> <p>(ア) くにのみや学習館をリニューアルするとのことだが、どのようにする計画か。</p> <p>(イ) 歴史教育・観光振興の基盤とするにはあまりにも手狭ではないか。山城郷土資料館と連携し、博物館の設置を目指すべきではないか。</p> <p>ウ 記念行事の一環としてサーカスと呼ぶことはできないか。恭仁宮跡は当時の建物を再現する予定はないようなので、野原に一時的に施設を設置するサーカスは恭仁宮跡の利用方法として適しているように思う。</p> <p>② 農業振興については、次世代の従事者を確保することが重要課題であると考えているが、農地の整備以外で具体的な施策は。</p> <p>(5) 「災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり」について トイレカーは、大規模地震のように市内全域が被災した場合、どのように運用するのか。</p> <p>(6) 「快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり」について</p> <p>① 木津駅東側の市街地形成について、目標となる完了時期はいつか。</p> <p>② なぜ城山台造成の時に同時に着手しなかったのか。</p> <p>③ 土地所有者との協議の状況は。</p> <p>④ 市街地形成するにあたっての課題は。</p> <p>(7) 「効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり」について 公共施設の包括管理業務委託によってどれくらいの経費縮減が見込めるのか。</p>
	<p>質問事項： 部活動の地域展開について</p>
質問 要 旨	<p>1月26日開催の総合教育会議で、部活動の地域展開について「取組手順のStepイメージ」としてロードマップのようなものが発表されたようだが、</p> <p>(1) 事業の現状とこれからの計画を分かりやすく説明してほしい。</p> <p>(2) モデル事業をどこの中学校からはじめるのか。</p> <p>(3) どの種目から取り組むのか。</p> <p>(4) 受け皿となる地域クラブとの協議は進んでいるのか。</p>